

特別委員会報告



特別委員会は、市の特定の問題について、審査・調査するために設置される委員会になります。主な調査内容をお知らせします。

議会活性化特別委員会

- ◇10月 8日 (第13回) ◇10月22日 (第14回)
- ◇11月 4日 (第15回) ◇11月13日 (第16回)
- ◇11月20日 (第17回)

令和2年8月に実施した袋井市議会に関するアンケート調査について、市議会議員の選挙、市議会議員の活動、市議会議員の定数の3項目に分け、それぞれ分析と考察を行い、具体的な対応策について検討を行った。

<主な対応策>

1 市議会議員の選挙

- 1 インターネットを活用した広報活動
(例:FacebookやLINEによる議会活動の発信)
- 2 投票率向上に向けた投票環境の整備
(例:主権者教育、投票所の増設、ネット投票)

2 市議会議員の活動

- 1 議会広報紙のリニューアル
(例:市民の興味を引く充実した内容に)
- 2 若年層や女性を対象とした議会活動
(例:議会報告会の拡充、学校への出前講座)

3 市議会議員の定数

アンケート調査で出された市民の意見はし

め、市民団体の意見・要望などを参考にし、必要とする議員定数の背景・経緯などを検証するとともに、場合によっては、有識者や第三者機関からの提言なども求めて、議会として協議していく。

◇12月11日 (第18回)

<協議事項>

1 議員定数の在り方について

アンケート調査の結果などを踏まえ、委員間討議を実施した。



ウェブアンケート

ごみ減量化特別委員会



市長へ意見書の提出

◇10月 6日 (第11回)

<委員間討議>

前回の委員会での委員からの意見や指摘を基に、正副委員長が精査・修正した意見書の最終案について、委員間における討議をした。

◇11月10日 (第12回)

<報告事項>

1 ごみステーション設置に向けた自治会への聞き取り結果について

令和2年9月から10月にかけて、現在の回収場所の敷地が狭いなど、新たにステーション設置用地を確保する必要があると思われる60自治会へ調査を行った。その結果、用地確保が困難な自治会が多いことから、令和3年度から令和5年度についてはステーション回収の導入は見合わせ、現在の集団回収の仕組みを継続することになった。

今後、令和4年4月から実施予定のごみ袋有料

化に合わせ、資源ごみなどのごみ出しの利便性向上や市民の負担軽減が見込まれる新たなごみの出し方を含め、検討を行っていく報告を受けた。

2 市民説明会で使用のごみ減量啓発動画の作成について

コロナ禍で延期している市民説明会で使用のごみ減量啓発動画を視聴した。

★10月21日に「ごみ減量化に関する意見書」を議長、市長に提出した。

ごみ処理業務全体を見直す上で、ごみ減量施策として取り組むべき事項及び増加している資源ごみの集団回収の負担の軽減について、現時点で考えられる課題の整理を行い、意見書を提出した。

【意見書の主な内容】

- ① 収集ごみ、直接搬入ごみ、事業系ごみ、下水・し尿汚泥などの可燃ごみを削減する。また、生ごみ処理機の購入補助制度を導入し、収集ごみのリサイクルをさらに推進する。
- ② ごみ処理費用を一部負担する可燃ごみ袋の有料化については、ごみの分別意識が高まり、混入しているリサイクル可能な廃棄物の分別が進むといった効果が期待でき、減量化対策の一つと考えられる。
- ③ 資源ごみと不燃ごみの収集方式の見直しについては、自治会及び市民に十分意見を聞いた上で検討するように努め、作成予定の紙用収集袋、容器包装プラスチック用収集袋については費用対効果を考える必要がある。